

やすだ のぼる
安田 登
 能楽師（下掛宝生流：ワキ方）
 寺子屋 講師 （阿弥陀寺）
 こどもおばけ合宿 講師 //

主著に『論語』『あわいの時代』『あわいの時代の『論語』ヒューマン2.0』
 『能 650年続いた仕掛けとは』他多数。

こままたとき 聖人の 親鸞鳥



イラスト 中川 学

すごい時代になった

いやはや、すごい時代になりました。突然の新型コロナウイルス騒動で外出自粛。仕事にも行けないし、学校にも行けない。買い物もだめだし、散歩にも出られない。こんなことが起こるなんて、少し前には想像もできませんでした。

「大悲心とぞ転ずなる」

もすべてなくなり、なんと四か月間、ほぼ無収入という人生初の経験をしました。

7月からは舞台も元に戻りますが、第二波、第三波が来るといわれていますし、東京の感染者数は減る気配が見えませんが、能楽師がフリーターであったことを実感しました。

コロナだけではありません。気象・天候も世界中では驚くべきことが起きています。かつてマイナス67・7度を経験した北極圏のシベリアの街では、今年はプラス38度を記録したとか。その差、100度以上です。また、もともと温帯の日本でも、熱帯のようなゲリラ豪雨に毎年のように見舞われています。

地球はどうなってしまうのでしょうか。経済もそうです。国際通貨基金（IMF）は、新型コロナ禍によって世界は劇的に変わり、リーマン・ショック直後を超えて、およそ百年ぶり、世界大恐慌から後では最大の景気後退になるとの見通しを発表しました。百年ぶりなんて考えもつきません。

古い時代のことを知る人が多い能楽界でも、今回のことは明治維新による幕府崩壊、終戦による日本文化の軽視以上の危機、数百年に一度の最大の危機だと言われていると思います。

「魚の目には水は見えない」といいますが、渦中にいる私たちは、それほど感じていないかもしれません。しかし、この影響はボデイブローのように私たちの内面を深く傷つけているはずですよ。

新しい可能性も

しかし、この状況を嘆いている人ばかりではありません。むしろ、喜んでる人、楽しんでる人もいます。

会社に行かずに家で仕事を「在宅ワーク」をする会社が増えました。パワハラやセクハラを受けていた人は、ほっとしています。余計な会議にも出なくていいし、行き

たくもない飲み会に付き合う必要もない。面白くもないおやじギャグに愛想笑いをしなくてもよくなりました。

とはいえ、すべての会社で在宅ワークができるわけではありません。それに在宅ワークをしろといわれても、コンピューターが苦手な人にとっては地獄です。今までは会社にいるだけで、なんとなくやっているふりができた人も成果が重視されるようになり「困ったな」と思っている人もいます。

それでも、1時間や2時間の通勤が当たり前前の東京では、その無駄な時間を節約できるようなことになったし、なんとといっても満員電車に乗らなくてもよくなったのは助かったという人は多くいます。朝起きるのが苦手な人も嬉しい。目が覚めた時間が仕事を開始する時間です。「また、遅刻だ」と叱られなくなりました。これは、大人だけではありません。

学校に行くのが憂鬱だった子や、イジメにあった子は在宅学習が救いになりました。いい先生だったら、教室よりも細かな指導ができるようになります。学校に行っていたときよりも成績がよくなった子もいます。

これからは学校に行くことと、自宅で学習することの選択が可能になるかもしれません。

変わる世界

今回のコロナ禍で、世界は確実に変わりつつあります。

北海道の小学校で、授業参観をオンラインでしたというニュースが流れていました。教室の後ろにカメラを置き、それを通した映像をインターネットに流して保護者が見るといふのです。この方法を使えば、常に授業参観が可能になります。年に一度ほど授業に行く小学校では、クラス崩壊が問題になっています。

授業中に騒いで、授業を
めちやくちやにしてしま
う生徒たちが何人かいま
す。そのために保護者が
交替で教室の後ろに立つ
て授業参観をするように
なりました。保護者がい
る間は、生徒は静かなの
です。しかし保護者には
仕事があります。常にい
るわけにはいかない。と
ころが、この方法を使え
ば、保護者は見たいとき
に携帯からでも見るこ
とができるようになります。
在宅ワークもさまざま
可能性を広げます。

コロナ騒動の前の話で
すが、京都の会社からパ
リでの公演を頼まれ、そ
の打ち合わせに京都に
行ったら、その担当者が
「今日は会議に來ること
ができない」ということ
で、その会議は、イン
ターネット会議になりま
した。

介護で会社に來るのが難
しくなったりした場合は、
インターネットで業務や
会議をすればいいという
仕組みになっていました。
素晴らしいシステムです。
でも、これが一般的にな
るのはずいぶん先の話だ
ろうなと思っていました
が、それが多くの会社で
可能であることがはつき
りしました。

これからは介護社会に
なるといわれています。
何かがあったときに安心
して休むことができる会
社、そしてそれをよしと
するお得意様、そのよう
な社会が近いうちに来る
でしょう。

また、まだ大学院だけ
の話ですが、東京大学
の大学院入試がオンライ
ンになるというニュース
も飛び込んできました。
入試を家で受けるのです。
しかも、インターネット
につないだ状態でいいの
で、わからない言葉は調
べることができます。英
文を読んでいて、わから
ない単語が出て來たら、

それも調べることができ
ます。英文そのものを翻
訳ソフトにかけてしまえ
ば、日本語として読むこ
ともできます。そして、
わからなかったら友人や
知人に聞いてもいいので
す。

これが大学入試、高校
入試にまで敷衍ふっえんされたら
どうでしょう。何を見て
もいいのですから、カン
ニングなんて言葉はなくな
ります。塾や予備校も
変わるし、受験参考書も
変わる。先生も変わらな
ければならなくなります。
どんな能力が大切か、問
われる能力自体も変わる
でしょう。

こんな時こそ親鸞聖人

そんな、すごい時代が
目の前に來ているのです。
しかし「俺はとてもつい
ていけないよ」という方
も多いでしょう。

これからは、時代につ
いていけない人についてい
けない人との格差が生ま
れます。そして、テクノ

ロジーの発展のスピード
はとてつもなく速いので
いまついていけると思っ
ている人も十年後にはつ
いていけない可能性
も高い。これからは、時
代が人を置いていく世の
中になります。

そうになると、多くの
人が不安になり、どうし
いいかわからなくなりま
す。そんな世の中がいま
目の前に迫ってきている
のです。

そして、このような時
代はかつての日本にあり
ました。親鸞聖人が生き
られた時代です。法然上
人や親鸞聖人が生きられ
た平安末期、鎌倉初期と
いうのは、貴族中心の世
界がガラガラと崩れ、新
興の武士による世界が生
まれる時代でした。あら
ゆる価値観が変わってし
まいました。

時代は進み始めると、
人間の手を離れてしま
います。まるで洪水のよう
に、あらゆるものを押し
流してしまします。人間
の知力や能力を超える時

代の波が押し寄せたのが、
あの時代でした。

人びとは今までの価値
観で生きられなくなり、
どうやって生きてらいい
のかわからなくなりまし
た。

その時、親鸞聖人は
「他力」を説かれたのです。
自分ではどうにもならな
い時。そういう時には、
手を放して、全身を阿弥
陀様に投げ出せばいいと
教えられました。

そんなことを言われて
もできません。火事のビ
ルの屋上に立っていて、
下には自分を掬ってくれ
る網がある。飛び込めば
いいことはわかっていて
も、そこから飛び込むの
は簡単ではありません。
さまざま言い訳が頭の中
を駆け巡ります。

でも、その網が本当に
大きくて、安心できる網
ならば、そして燃える炎
がいままさに迫って來て
いるならば飛び込むこと
ができるでしょう。

親鸞聖人のご和讃を拝
読しましょう。

大きな網とは、阿弥陀
様の「大悲心」です。「悲
心」とは「呻うめき」です。私た
ちの呻き、苦しみを我が
苦しみのように感じてく
ださる心が大きな網です。
それに大がつく「大悲」
とは区別・差別がないと
いうことです。「凡夫」で
あれ「善人」であれ「悪
人」であれ、飛び込んで
くれば誰でも迎えてあげ
るよ、というのが「大悲」
であり、このご和讃です。
800年の時を経て、い
ま親鸞聖人が生きられた
ような時代に私たちは直
面しました。いまこそ親
鸞聖人を思い、そしてそ
の書かれたものを読み返
すときなのかもしれませ
ん。

弥陀智願の広海に
凡夫善惡の心水も
帰入しぬればすなわちに
大悲心とぞ転ずなる

